

10師団だより

第6号 (H22.10.18)



1. 師団創立48周年記念行事
2. 師団総合戦闘射撃訓練
3. 第2次師団指揮所訓練センター訓練
4. 防災訓練たけなわ
5. 富士登山訓練 即応予備自衛官招集訓練の一環として
6. 手榴弾騒動で司令部第4部が即応・識別処置
7. 春日井駐屯地で職場体験
8. 紅一点 第10特科連隊 谷口1士

飛翔 そして 東海北陸6コ県民とともに 師団創立48周年記念行事、盛大に開催



堂々たる74式戦車の観閲行進
(22.10.3 守山駐屯地)



模擬戦闘訓練の中で観客の度肝を抜いたFH-70
の空包射撃(22.10.3 守山駐屯地)

師団(師団長 河村陸将)は10月3日、守山駐屯地において来賓、市民ら約1万500名が訪れる中、「師団創立48周年記念行事」を盛大に開催した。

グラウンドにおいて観閲式を行い、師団長が式辞の中で「師団隊員一同、48周年の創立記念に当たり、与えられた使命の重さに思いを致し、いついかなる事態が発生しても、危険を顧みず身をもって国民の負託にこたえることを改めてお誓い申し上げます。」と決意を述べた。

続いて観閲行進に移行し、普通科連隊の徒步行進や師団主要装備による車両行進、ヘリによる編隊飛行を行った。更に音楽隊による音楽演奏、格闘訓練及び諸職種協同による模擬戦闘訓練を展示し、隊員の威風堂々たる勇姿を披露して師団の威容を表した。

行事では、戦車試乗、装備品展示、ふれあいコンサート、野販売店、サバイバルコーナー、写真撮影コーナーなど様々なイベントを行い、訪れた市民らは自衛官とのふれあいも楽しみながら多彩な1日を満喫した。

諸職種部隊の火力を結集

師団総合戦闘射撃訓練



120mm重迫撃砲を操作する普通科隊員
(22. 9. 22 あいば野演習場)



74式戦車の射撃
(22. 9. 22 あいば野演習場)

師団は、諸職種部隊の総合された火力発揮能力の向上を図るため、9月18日から25日までの間、あいば野演習場において師団総合戦闘射撃訓練を行った。訓練は、昨年に引き続き陣地攻撃における増強普通科中隊の行動について行い、小銃、機関銃、対人狙撃銃、対戦車誘導弾、迫撃砲、特科、戦車の射撃を行うとともに、今年は新たに軽装甲機動車（LAV）上からの機関銃射撃を増加して、推移する一連の状況に応じて迅速・正確な射撃を行った。

師団司令部等の幕僚活動能力の向上を 第2次師団指揮所訓練センター訓練



指導を行う統裁官兼演師団長（左端）
（22. 9. 14 中部方面指揮所訓練センター）



演各部隊の指揮所活動の様子
（22. 9. 15 中部方面指揮所訓練センター）

師団は、9月11日から17日までの間、指揮所訓練統裁支援システムを活用した第2次指揮所訓練センター訓練を中部方面指揮所訓練センターにおいて行った。

訓練は、攻撃における有機的な幕僚活動について行い、司令部及び隷下各部隊（音楽隊を除く。）が参加した。参加した各隊員は、全員がそれぞれの立場で英知を絞り、勝利を追求して任務を遂行した。

2夜3日の連続状況下での指揮所訓練を終えて最終日には、研究会を行って戦闘経過の概要、結節時の状況判断や幕僚活動等について議論がなされた。

防災訓練たけなわ 即応性向上、関係機関との連携を強化

台風や風水害など自然災害が多い季節、
隷下各部隊では自治体等が行う防災訓練への
参加がたけなわとなっている。

訓練では、即応性を発揮するとともに、
効率的な救助・救援活動が出来るように自
治体や関係機関との連携強化を図っている。



愛知県・一宮市総合防災訓練
(22. 8. 29 一宮総合運動場)



豊川市総合防災訓練、即応予
備自衛官が主力となり参加
(22. 9. 5 豊川訓練場)



四日市市市民総ぐるみ総合
防災訓練 (22. 8. 29
三重県四日市市楠中央公園)



中部国際空港航空機事故消火
救難・救急医療活動総合訓練
(22. 10. 7 中部国際空港)

富士登山訓練

即応予備自衛官招集訓練の一環として 49普連

第49普通科連隊（連隊長・小林1佐）は8月27日から28日にかけて、即応予備自衛官招集訓練の一環として第2中隊による富士登山訓練を実施した。

訓練は、中隊長（中西1尉）以下、即応予備自衛官57名を含む83名の隊員が参加し、富士宮口新五合目から富士山頂までの間を行進した。

27日19時に新五合目を出発、あたりは標高約2,400mで若干肌寒く、山頂に近づくにつれ気温がさらに低下して隊員の体力消耗が心配された。しかし、隊員相互に励まし合ったり荷物を分け合ったりと、これまでの招集訓練で培った気力・体力と団結力を発揮して28日4時20分、登頂に成功した。富士山頂の気温は約5度、防寒着に身を包み御来光の時を待った。5時15分、眼下に広がる美しい雲海より昇る御来光を前に、感慨深く見つめる隊員達の表情からは、大きな充実感と達成感が窺えた。

5時40分、御来光の余韻に浸りつつも下山を開始し、新五合目に8時半に到着して登山訓練を無事終了した。



感動の御来光



富士山頂での記念写真

手榴弾騒動に即応、司令部第4部が識別 玩具と判明し街に安心を取り戻す



不審物を識別する司令部第4部の隊員
(22. 10. 12 名古屋市瑞穂警察署)



1個には砂が、もう1
個には粒状の鉛が詰め
られていた。



米軍製M67破裂手榴弾に似せた玩具と判明
(22. 10. 12 名古屋市瑞穂警察署)

10月12日、名古屋市瑞穂区のマンション敷地内で手榴弾らしき物が2個発見され、警察が周辺を一時立入禁止にするなど一帯が騒然となる事案が発生した。

警察から確認の要請を受けた司令部第4部では、隊員2名が回収先の名古屋市瑞穂警察署へ急行して調査し、「米軍製M67破裂手榴弾に似せた玩具であり危険性がない。」と識別した。手榴弾は1個には粒状の鉛が、1個には砂が詰められて重量感があり、外見も本物に酷似していたが、隊員の高度な技術と豊富な経験から見事に偽物と見破った。

師団隊員の迅速・適確な処置で、不安な街を一瞬にして平和に戻した。

中学生が職場体験「総合的な学習の時間」 春日井駐屯地で盛り沢山の体験



ロープワークを学習する参加中学生
(22. 9. 14 春日井駐屯地)



救急法では心肺蘇生法を体験
(22. 9. 15 春日井駐屯地)

春日井駐屯地は、9月14・15日の両日、犬山市南部中学の生徒10名に対して職場体験「総合的な学習の時間」を実施した。

生徒達は、駐屯地の概況説明を聞き体験喫食を行った後、施設大隊担任の「ロープワーク」、「救急法」及び後方支援連隊担任の「車両整備工場見学」、「ミシン裁縫体験」、「野外電話機の構成」等を体験、学校では教わらない盛り沢山の体験をするとともに、自衛隊の活動について認識を新たにした。

紅一点

「細かいことに気づく、笑顔を絶やさない女性自衛官でありたい」

第10特科連隊（豊川） 1士 ^{たにぐち} 谷口 ^{まこ} 芙子

9月の紅一点は第10特科連隊で有線通信手として勤務している谷口芙子（たにぐち まこ）1士に登場していただきました。

—早速ですが出身地と入隊動機からお願いします。—

愛知県です。国際貢献や人の役に立てるようなことがしたかったので入隊しました。

—入隊してから一番印象に残っている出来事は？—

新隊員の前期教育です。同期で一つの目標に向けて教育をやりとげた充実感や達成感は忘れられません。

—女性自衛官としてどうありたいですか？—

細かいことに気がつく、笑顔を絶やさない女性自衛官でありたいです。

—理想の男性像を教えてください—

子どもが好きな、家庭的な人

—趣味について—

買い物が好きです。音楽も好きで最近は加藤ミリヤが好きです。

—行ってみたい所、好きな食べ物、嫌いな食べ物は？—

広島。原爆ドームを見て戦争の悲惨さを受け止めたいです。好きな食べ物はスイーツです。嫌いな食べ物は、貝類と癖のある食べ物です。

—好きな言葉は—

初志貫徹です。

—将来の夢を—

より人の役に立つように修練したいと思います。

—ありがとうございました。夢に向かって頑張ってくださいね。—

